

一中だより



第 5 号

令和 6 年 8 月 2 6 日 (月)

〒368-0012



秩父市滝の上町9番22号 (学校HP)

秩父市立秩父第一中学校

TEL 0494-22-1142

E-mail dai1chu@chichibu-stm.ed.jp

学校教育目標 「学び 磨き 鍛える」

目指す学校像 「時を守り 場を清め 礼を正し

笑顔 感動 高き志 のある元気な学校」

目指す生徒像 「人間として優れ 学力体力に勝る」(校訓)

オリンピック・パラリンピックのもう一つの楽しみ



校長 井上 淳一郎

夏季オリンピックが7月26日(金)より17日間、開催されました。また、8月28日(水)からは、12日間にわたってパラリンピックが開催されます。

オリンピック・パラリンピックを見ると、その超人的な技に驚かされるばかりです。体操での後方2回宙返りに1回のひねりを加えての着地、スケートボードを1回転させながら手すりにのせて、それに飛び乗り滑り降りるなどの光景が次々と繰り広げられます。選手が平然と行ってしまうので、できて当たり前のように見えますが、よくよく考えてみると人間業とは思えない技術です。小さい時から積み重ねると、中にはこのような技ができるようになる人もいるのかと感心するばかりです。

ところで、オリンピック・パラリンピックでは、私には超人的な演技を見る以外にも楽しみにしていることがあります。それは、選手一人一人の大会までの軌跡や選手が見せる素晴らしい行動に触れることです。普段はあまり目にする機会がない競技でもオリンピック・パラリンピックは注目度が高く、様々な競技が行われるのでテレビや新聞等を通して、選手一人一人の様々な“エピソード”が報道されます。

今回も、やり投げの北口選手のチェコ修行の様子や体操男子の諦めない気持ちなどが伝えられました。中でも個人的には新競技ブレイキンの半井重幸(Shigekix)選手が印象的でした。現在22歳だそうです。9歳から世界大会に出場し、数々の優勝を果たしてきました。今回は思うような成績ではなかったと思いますが、対戦相手と楽しみながら技を披露し合って純粋に競技する姿が新鮮でした。また、インタビューの際、「ブレイキンを背負う一人の自分は、その素晴らしさを伝えたいので、ネクタイを緩めたりしないでしっかりと身なりで答えるようにしています」と述べていました。

一流のアスリートが競技にかかる努力は半端ではありません。と同時に、それを継続できるのは、それに耐えうる心も伸ばし、素晴らしい人間性を身に付けているからです。生徒には、今回のオリンピック・パラリンピックを通して、選手の普段見えにくい部分にも注目し、自分を伸ばすエネルギーにしたいと思います。